

Sankka

讃歌
冬号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 消化器内科部長に聞きました。

高い専門性を持つスタッフと、
癌を中心に多様な消化器疾患に対して
最先端の治療を提供しています。

◎特集② 薬剤部部長に聞きました。

薬のプロフェッショナルとしてチーム医療に参画し、
安心・安全な薬物療法のサポートに努めています。

◎コミュニケーション広場

○健康は毎日の食事から「医食同源」講座（第27講目）

○地道にコツコツ「健康運動」講座（第6講目）

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ（第50弾）

○私の病院自慢あれこれ（第50回）

◎院内散策④

○第13回京都九条病院

病診・病病連携セミナー



院長 山木 垂水



消化器内科部長 奥田 孝太郎

vol.50
2019 Winter
冬号

高い専門性を持つスタッフと、
癌を中心に
多様な消化器疾患に対して
最先端の治療を提供しています。



Koutarou Okuda

京都九条病院 消化器内科部長 奥田 孝太郎

京都九条病院の消化器内科消化器内視鏡センターでは、最新の機器を導入し、専門性を備えたスタッフが癌治療を中心に最先端の診療を行っています。とくに、内視鏡を用いた消化器検査・治療では、多数の専門医・指導医が治療を提供しており、地域の方々から高い信頼を得ています。症例も確実に伸長しており、内視鏡の件数においても年々増加。平成30年度には7000件を超える予想され、着実に実績を重ねています。

大腸癌、膵臓癌が増加傾向、
早期発見・治療には
内視鏡検査が何より大切

消化器の癌の中でも近年とくに増加が目立つのが大腸癌です。平成29年度の大腸癌死亡者数は5万人超にも上り、これはアメリカの大腸癌による死亡者数とほぼ同程度です。アメリカの人口が日本の約2.6倍ということと考えると、いかに日本の状況が深刻かお分かりいただけることでしょう。

とはいえ、この大腸癌も内視鏡で治療できるかなりの段階なら、治療による体の負担も少なく、早

京都九条病院 内視鏡総合計年度別推移



期の社会復帰も可能です。しかし発見が遅れ、症状が出てからでは大掛かりな手術が必要となり、負担も大きくなります。

大腸癌は初期の場合、ほとんど自覚症状がなく、大腸内視鏡検査が主な発見方法です。日本で大腸癌による死亡者数が多いのは、大腸癌検診や大腸内視鏡検査を受ける人が少ないことが大きな要因。便が出にくいといった気かりがあるときはもちろん、とくに50歳以上の方には自覚症状がなくても検査受診を強くお勧めします。

大腸内視鏡検査を受ける場合、事前に下剤を飲む必要があります。

の負担ゆえに検査を敬遠する人もありました。以前は2リットル飲む必要のあった下剤も現在では約半分で済むうえ、検査前日も検査食をとれるなど、準備が容易になっています。また、大腸カプセル内視鏡を飲む検査方法も採用していますので、薬に検査を受けていただけです。

健康診断で「要内視鏡検査」という指示が出て、女性の中には男性の医師だと恥ずかしいという理由で大腸内視鏡検査を受けない方もおられるのですが、これではみすみす早期発見の機会を逃してしまふことにもなりかねません。その点、当院には内視鏡専門医の資格を持つ女性の医師がたくさんいますので、女性医師を指定していただくこともできます。

また、膵臓癌での死亡者数もここ数年で増加しています。この癌は自覚症状が出ないのが特徴で、膵臓癌と診断されたときには、かなり進行している場合も多く、厄介な癌の一つです。健診での腹部エコー検査や精密検査としての腹部CTで早期発見に務めています。食欲がない、体重が減るといった症状がある場合は、自己判断せず早めに医師に相談してください。

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

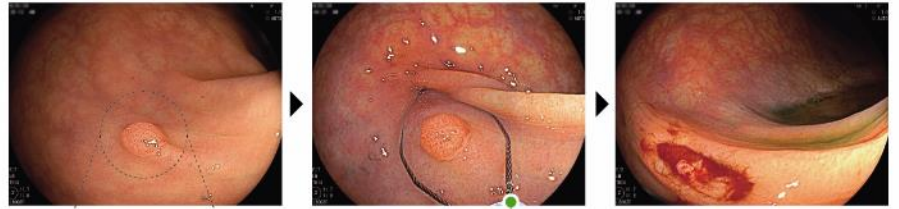
良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- 1 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- 2 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- 3 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- 4 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- 5 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- 6 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- 7 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- 8 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

CSP (コールドスネアポリペクトミー) 治療



切除専用処置具



ポリープ

京都九条病院 大腸ポリープ切除術年度別推移



ポリープ切除で
大腸癌リスクを回避

当院では、近年大腸癌の予防的治療として全ての腫瘍性ポリープを切除しています。大腸癌は良性腫瘍性大腸ポリープからの癌の発生が証明されておりあります。米国での研究によつて、腫瘍性大腸ポリープを全て切除することにより大腸癌の死亡率が下がるといふ研究結果が出たため、日本でも全ての腫瘍性ポリープを切除する施設が増えています。切除方法として、10mm以内の良性腫瘍性ポリープはCSP(コールドスネアポリペクトミー)という金属の輪で取り除く方法を採用しています。これは電氣を使用せずに機械的に切除するため治療が簡単にな

り偶発症も減少し、患者さんの負担が大幅に改善されています。

当院における大腸ポリープ切除は、平成26年度の164件から平成29年度には366件以上と増えており、将来的に大腸癌を減らすことにつながることを期待しています。

一方、内視鏡検査で比較的大きな早期大腸癌が見つかった場合は、大腸ESD(内視鏡的大腸粘膜下層剥離術)による治療を行っています。ESDは、内視鏡を使って消化管内腔から粘膜下層までを剥離し、病変部分を一括切除する治療法で、外科手術に比べて体への負担が格段に少ないうえ、癌がお尻に近い直腸にできた場合でも人工肛門になることが避けられ、患者さんにとつてメリットの大きな治療法です。

当院では平成23年からESD治療を開始、以降、着実に実績を積み重ねており、総症例数も200例を超えています。

また、転移を伴う大腸癌に対しては抗がん剤治療も年々発達してきているので外来治療で元気に通院されている方も多くなります。当院ではこうした最新の治療法治療薬を取り入れ、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供していますので、安心して受診してください。

日本門脈圧亢進症学会
技術認定取得医として、
食道胃静脈瘤の治療に
取り組んでいます

当院では、私の専門である食道胃静脈瘤の治療にも力を入れています。食道胃静脈瘤とは食道や胃の粘膜にできる静脈瘤で、主に肝硬変によつて引き起こされる合併症の一つですが、静脈瘤が破裂した場合命を落としかねない怖い病気です。

私は平成29年に日本門脈圧亢進症学会技術認定取得医を取得し、全国で50余名しかいない専門医の一人として積極的に治療に取り組んでいます。専門的な治療が受けられる病院として、京都市内のみならず府下全域から治療にいられており、症例も多いので、安心して受診してください。

消化器といつてもさまざまな臓器があり、多様な病気があります。が、京都九条病院に行けば消化器の病氣は全て診てもらえる」と安心していただけるよう、スタッフ全員がさらに専門性を高め、地域の方々に貢献していきたいと考えています。



京都九条病院 友沢 明德
薬剤部部長

特集

2

薬剤部部長に聞きました。

薬のプロフェッショナルとしてチーム医療に参画し、
安心・安全な薬物療法の
サポートに努めています。

医療チームの一員として
薬学的専門性を発揮

十数年前からの医薬分業により
外来患者さんへの投薬がほぼ
院外の保険薬局に移行したこと
で、病院内の薬剤師の役割は、薬

というモノを提供する仕事だ
けではなく、薬の情報を適切に
取り扱い、主に入院患者さんとい
うヒトへのケアに取組む方向にシ
フトしてきました。その背景に
は、高い効果のかわりに強い副作
用をもつ薬の登場による健康被
害の増加、患者さんの権利擁護に

対する社会的要請の高まりがあ
ります。

京都九条病院では、比較的早い
時期から薬剤師が入院患者さん
への服薬指導や医療スタッフへの情
報提供を行なっていました。約
10年前から順次各医療チームに
担当薬剤師を配置して患者さん
の治療や体調管理にもより積極
的に関わってきました。具体的
には、栄養サポートチーム(NST)、
院内感染対策チーム(ICT)、がん
化学療法チーム、周術期管理チ
ーム、糖尿病治療チームなどです。

例えば、NSTでは食欲不振や
栄養不良の状態を他職種と共に
評価、悪影響を及ぼす薬や改善
に役立つ薬をピックアップして可
能な限り治療効果を損なわずに
栄養状態を維持向上させる適切
な使い方を提案しています。

手術を受ける患者さんへの対応
も重要な仕事の二つです。周術期
管理チームの一員として手術前の
外来診療から関わり、手術に備え
て事前、事後に服用を中止すべき
薬や、逆に当日も服用すべき薬に
ついて医師に確認・提案します。
患者さんへの説明、指導もしっかり
行い、入院時には実際の服用状況
を確認して、手術を安全に受けて

いただけるようサポートします。
その他にも、外来がん化学療法室
を訪問して副作用等の症状や日
常生活上の問題点を聞き取りフ
ィードバック、糖尿病入院患者さ
んには治療薬の正しい理解と適切
な使用を指導、感染症治療では
最新の抗菌薬適正使用情報をい
ち早く提供します。このように
様々な場面で医師や看護師、管理
栄養士等のメディカルスタッフと共
に問題解決にあたり、最適な治療
法選択をサポートするのが医療
チーム担当薬剤師の仕事です。

患者さんのための
安心・安全な
薬物療法サポートが
薬剤師のミッション

今、日本社会では医療の高度化
と診療科の細分化、専門特化が
猛烈なスピードで進んでいます。
その一方で医師業務が多忙を極
める中、医師でなければできない
業務以外を他の医療スタッフの専
門性に委ね、連携して治療に取組
むという形でタスクシェアリング、
タスクシフティングが進められてい
ます。では、薬剤師のタスク(仕
事)において、薬の専門職として果

たすべきミッション(使命)とはど
ういうものでしょうか。それを端
的に言い表すと「安心・安全な薬
物療法のサポート」に尽きます。
薬物療法を行う場合、医師は
治療のためにより有効な薬を選
択して処方するわけですが、薬剤
師は薬学的専門知識を駆使して
安全性に関するチェックを行い、そ
の薬物療法が患者さんにフィット
するよう補完します。例えば、腎
臓や肝臓など薬を体外に排出す
る機能に問題がある場合には、薬
ごとの代謝・排泄特性や効果の長
さや強さなどの情報を基に、薬の
種類や量、回数、間隔などを調整
して、医師の意図する効果を維持
しながら副作用のリスクを減らす
提案をする、といった具合です。
他に考慮しなければならぬ患
者さん要因として、薬を取り出す



患者さんの薬物療法を支える薬剤師は、
このユニフォーム姿で活動しています。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

力、飲み込む力、認知機能、生活・介護環境、嗜好などがあります。薬の目的や作用に間違いがなくても正しく飲めない、使えない状態にある患者さんには効果や安全性が期待できなくなります。こうした場合には、錠剤や粉、液体、貼り薬や塗り薬、吸入薬、といった薬の形や大きさ、色、味などにも配慮した変更やできるだけ少ない回数での服用で効果が望める薬への変更を提案します。また、機械を使って1回分ずつ一つの袋にまとめ、取り出しやすく、飲み間違いを起しにくい調剤方法にするといった対応も行っています。

薬物療法によって患者さんの病気が治り、生活の質を高めるには、的確な診断と処方、正しい調剤に加えて、きちんとしかも安心して

退院後の生活環境に適応した処方設計と薬の管理方法をコーディネート

入院中は医療スタッフが薬の管理をしていますが、患者さんが退院される場合、薬の効果が持続するように管理が引き継がれる必要があります。とくに高齢の患者さんの場合、自宅でも安全を守りながら薬を使うことが重要になります。そのため、病院薬剤師は

ご自宅や介護施設、病院といった退院後の療養環境を把握して患者さんの状況に合わせた処方内容を提案します。そうして調整されたお薬についての情報をご本人、ご家族の同意を得てかかりつけ医やかかりつけ薬局、訪問看護ステーション、介護施設などとも共有し、安心して退院いただけるようにしています。とくに、薬物療法が中心となる在宅医療では、病院薬剤師も地域医療スタッフの一員として取り組む必要があります。当院地域包括ケア病棟の担当薬剤師は、退院カウンセリングにも参加して他職種から学び情報を共有して、療養環境にフィットした継続可能な薬物療法をサポートし、かかりつけ薬局に引き継ぎます。

患者さんの近くで治療目標達成をアシスト

このような薬剤師の使命をより多くの患者さんに対してより良く果たすべく、当院では薬剤師の病棟配置を進めています。病棟の薬剤師は、調剤室から出て入院患者さんのそばで仕事をする薬剤師です。今はまだ一部の病棟にとまっています。今後は、全病棟への配置を目指して準備を進めています。

薬物療法の有効性は、単にその薬に効力があるかどうかだけでは決まりません。患者さんごとの治療目標を達成して初めて、「その薬が有効である」と言えるのです。そのためには、薬への不安を取り除き、目的と目標を理解して受け入れていただくこと、正しい使い方や副作用が現われた時の対処方法などを理解いただくことに加え、使用後の患者さんの状態をフォローすることが必要不可欠です。



私たちが目指す薬剤師像

京都九条病院 薬剤部

- 1 医薬品の供給に責任を持ち、医療の安全を守る薬剤師
- 2 薬物療法の結果にコミットし、患者さんのQOLに寄り添う薬剤師
- 3 治療目標・プロセスを共有し他職種から信頼される薬剤師
- 4 地域医療介護への視野と見識を持ち地域社会から頼りにされる薬剤師

り組んでいます。そして退院までの間、服薬指導と同時に効果や副作用の確認をしつつ問題があれば解決を図り治療目標達成をアシストします。患者さん、ご家族からの疑問や要望にも迅速に対応し丁寧な説明に努めていますので、気軽にお声掛けください。京都九条病院薬剤部は、患者さんはもちろん、そのご家族のためにも、入院から退院、さらにその後まで、命を救う医療から、治し、支え、寄り添う医療まで、さまざまなおニーズに対応します。そして地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう薬の専門職として努力してまいりますので、これからもよろしくお願いたします。

FOOD
for **H**EALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座⑦
講師・京都九条病院 管理栄養士
木元 麻衣
Mai Kimoto

縁起物で体に良い
れんこんを食べて、
腸内の活性化を!



れんこんのサラダ

材料(2人分)

1人分のエネルギー/180kcal
たんぱく質/2.5g、脂質/13.1g、食物繊維/5.5g

- ごぼう…30g
- れんこん…40g
- にんじん…15g
- ひじき(戻したの)…25g
- むぎ枝豆(正味)…10g

【ヨーグルトドレッシング】

- マヨネーズ…大さじ1
- ヨーグルト…大さじ2
- 塩コショウ…少々
- にんにくチューブ…少々

- ① 野菜はタワシでごすり洗いし、ごぼうはさがぎに、れんこんとにんじんは薄いちょう切りにする。
- ② ひじきはぬるま湯でもどしておき、枝豆は茹でて皮から出しておく。
- ③ 鍋にたっぷりの水と酢(分量外小さじ2程度)を入れ、沸騰したら下処理した野菜、ひじきを入れる。
- ④ 再沸騰して4~5分ゆで、ザルに上げて冷ました後、水気をしっかり絞ってあらかじめ合わせておいたヨーグルトドレッシング、枝豆を加え和える。



2月が旬のれんこん。穴が開いている姿から「先が見通せる」という意味でおせち料理にも縁起物として使用され、古くから食べられている食材です。

栄養面から見るとビタミンCやビタミンBが多く含まれています。ビタミンCは調理によって壊れやすい性質を

持っています。れんこんに含まれるのはでんぷんに守られており、加熱に強いと言われています。またカリウムや鉄、銅や亜鉛などのミネラル類も含まれています。

さらに食物繊維が豊富で、腸内環境を整え、腸内にたまった不要物を外に排出してくれる働きがあります。れんこんのもう一つの特徴であるネバネバ成分はムチンという栄養素。胃の粘膜を保護し、消化を助ける働きがあります。また、粘膜の働きを高める働きにより、免疫力のアップも期待

できます。れんこんは納豆やオクラに比べるとクセがないので、ネバネバが苦手な人も比較的食べやすいですね。

今回はそんなれんこんを使った食物繊維と乳酸菌を摂取できる腸活レシピをご紹介します。マヨネーズにヨーグルトを混ぜることにより、マヨネーズを分量使った時よりカロリーダウンが実現できますので、ぜひお試しください。



REHABILITATION
for **H**EALTH

地道にコツコツ「健康運動」講座⑥
京都九条病院
リハビリテーション部

適度な運動で
免疫力アップ!
寒い冬を
乗り切りましょう



インフルエンザの季節になりました。予防接種を受けたにも関わらず、インフルエンザにかかってしまった。という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。免疫力が低下すると、風邪を引きやすくなり、ですが、それはインフルエンザも同じです。今回は、そんな免疫力と運動に関するお話です。

免疫力とは、細菌やウイルスから体を守るチカラのことです。一般的に、免疫力を低下させる要因として、

- ① 加齢・妊娠
- ② 激しい運動
- ③ ストレス
- ④ 睡眠不足
- ⑤ 生活時間の乱れ
- ⑥ 栄養不足

があるとされています。ここで挙げられている「激しい運動」とは、マラソンなどの強い強度の運動を指しています。マラソンなどの強い強度の運動をした人は、しななかった

人と比べて2~6倍風邪を引きやすいという研究結果もあるようです。逆に、適度な運動を行うと、免疫力が高まり、風邪を引きにくくなると言われています。

では、どのような運動をすれば免疫力を高めることができるのでしょうか。一般的には、軽く汗をかく程度、疲労が残らない程度の運動が良いと言われています。運動の程度は、人によって異なりますが、30分程度のウォーキングやサイクリングなどでも効果があるそうです。寒いからといって、家の中に閉じこもってしまうのでは、逆効果です。

また、体に筋肉を付ける事も免疫力をアップさせる方法の一つです。筋肉が力強



く働くことで、手足の先まで血流が良くなり、免疫細胞が体の隅々にまで運ばれていきます。特に、スクワットやつま先立ちなど足腰の運動は、転倒も予防できるため、まさに一石二鳥の運動と言えるでしょう。

みなさんも、寒い時期こそ毎日の運動と筋トレを実践してみましよう!!





琵琶湖の静かな波を感じながら見る風景は、綺麗で気持ちよかったですよ。

休日には
雄大な自然の景色の中で、
普段は近所の銭湯で、
心身をリフレッシュ!!

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ⑤

京都九条病院 整形外科
水野 祥寛
Yoshibiro Mizuno



昨年4月に着任し、骨折などの外傷をメインに治療を行っています。リハビリと合わせて機能回復を図るなど、地域の方々のニーズに合わせた治療を心がけていますので、気になることがあれば気軽に受診してください。

私の趣味は、美しい風景を見て回ること。京都には有名寺社などもたくさんありますが、そうした観光スポットのなところより、雄大な自然の光景に惹かれます。近場で気に入ったのは、琵琶湖の景色です。先日は福井の東尋坊まで足を伸ばしたのですが、切り立った岩壁はかなり迫力があって見応えがありました。行き帰りはたいい電車。目的地に着くまでの旅程も楽しんでいます。

普段は、銭湯でゆっくり湯に浸かり、リフレッシュしています。実は、京都

にやってきて驚いたことのひとつが、昔ながらの銭湯がたくさん残っていること。家の近所にも二軒あり、自分なりのローテーションでどちらかを選んで通っています。湯船が広々しているのはもちろん、独特の風情があり、いろんな人もやってくるので、それも面白いですね。銭湯ですっきりした後の楽しみは晩酌。こうしたゆったりした時間を過ごすことがよい気分転換になっています。

大学時代までずっと野球部に所属していたこともあって、スポーツは何でも好きです。当院には野球やフットサルのチームがあるそうなので、機会があれば参加したいとも思っています。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ⑩

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のいいところが好き!!

好きな言葉 favorite word

「協力」

吉川 航平

リハビリテーション部 主任
理学療法士



先輩、後輩の垣根なく、団結して患者さんのリハビリを進めていくところです。人の生活に直結する仕事なので責任も大きいのですが、担当患者さんがお元気になられて、感謝の言葉をいただいたりすると、理学療法士をしていて良かったと思います。怪我で手術をしたスポーツ選手のリハビリもやりがいのある仕事。サポートした選手が復帰して、全国大会で活躍していることを知った時は嬉しかったですね。これからも、地域の方々を支えられるよう、オールラウンドの療法士を目指します。

好きな言葉 favorite word

「寄り添う」

谷口 朋子

看護部 4階病棟



地域密着型の病院で、患者さんと顔が見える関係が築けるのがいいですね。同じ同工会グループの中に介護老人保健施設もあって、患者さんが退院された後の様子も把握しやすく、担当した方をずっとフォローしていける点が魅力です。入社して一年。まだわからないこともたくさんありますが、スタッフの皆さんが優しく、的確に教えてくださるので、だいぶ業務にも慣れてきました。これからもできる限り患者さんの気持ちに寄り添った看護を行っていきいたいと思っています。

好きな言葉 favorite word

「努力し挑戦し続ける」

森島 弘圭

事務部 医事課



周りのスタッフが親切なんです。秋田から引っ越してきたことから、最初は会話にも戸惑うことがあったのですが、先輩をはじめ皆さんが丁寧に教えてくださり、しっかり対応できるようになりました。職員向けのマナー研修が充実しているのも助かりますね。患者さんに対する接遇の仕方はもちろん、職員間のコミュニケーションの取り方なども指導してもらえ、とても勉強になります。患者さんに寄り添った対応を心がけるとともに、皆さんに信頼される事務職員になれるよう、努力を続けます。

好きな言葉 favorite word

「全力投球」

西田 英起

薬剤部 薬剤師



新人に対する面倒見がよく、サポートがしっかりしているところです。先輩との距離も近く、相談しやすいんですよ。一方、足りない部分に対しては厳しく指導いただけるので、自分が日々成長している実感があります。一年目から担当患者さんの病棟を回り、チェックしているのですが、薬剤師の視点から治療に貢献できることに、とてもやりがいを感じています。患者さんにお薬に関する悩みを打ち明けてもらえるよう緊密な関係を築き、より良い形でお薬の提供ができるようになりたいですね。



院内散策
さんさん

『第13回京都九条病院 病診・病病連携セミナー』

主催 京都九条病院

平成30年11月17日(土)に「第13回 京都九条病院 病診・病病連携セミナー」を開催いたしました。これは、地域医療サービスのさらなる充実を目的として、京都九条病院と地域の病院・診療所との連携、また当院内のスタッフ間の連携を促進するため毎年開催しています。

セミナーでは、まず、京都九条病院 山木院長が開会のあいさつを行い、当院が4回目の「病院機能評価」審査において、認定更新を果たしたこと。その中で、地域への様々な取組みやチーム医療に力を注いでいることに高評価を受けたことを述べました。また精神科・心療内科の導入により病院として提供する医療の質が向上したことを紹介しました。

また、当院が、認知症やその予備軍の方に対して、さまざまな職種が連携し、「チームで行う」ときれのない支援体制づくり」に積極的に取り組んでいることを紹介しました。さらに、京都でも認知症の高齢者が増加している状況を踏まえ、「新・京都式オレンジプラン」の内容について解説。認知症の方が介護を必要とするようになって、住み慣れた地域で暮らせるよう、地域全体でこのプランを展開・推進していく重要性を訴え、協力を呼びかけました。

第一部では、京都九条病院 地域医療連携室の道下課長が、当院の地域医療連携室の活動について報告。地域の皆さまの医療・福祉・保険などに関する包括的な相談に応じるとともに、地域医療のネットワークを構築することによって健康をサポートし、

質の高い生活が営めるよう支援していることを説明。そして、2名のスタッフを増員した連携室の、さらなる活動の強化を目指す決意を伝えました。

次に、当院薬剤部の友沢部長より「京都九条病院 薬剤部の活動について」と題して、薬剤師が病院の中でどのような仕事をしているのかを具体的に紹介、安心・安全な薬物療法をサポートし、地域医療に貢献する薬剤部像を示しました。

コーヒープレイクを挟んで第二部では、京都九条病院 精神科・心療内科 介護事業部 統括医師の西村医師が「京都九条病院における精神科リエゾンについて」を講演。精神科・心療内科の取り組みとして、入院に伴って起こるせん妄や不眠といったさまざまな精神症状に対して専門的な対応・ケアを行うことで医療の質が改善され、入院から退院までの時間を治療やリハビリに専念してもらえようになったこと、

また、当院が、認知症やその予備軍の方に対して、さまざまな職種が連携し、「チームで行う」ときれのない支援体制づくり」に積極的に取り組んでいることを紹介しました。さらに、京都でも認知症の高齢者が増加している状況を踏まえ、「新・京都式オレンジプラン」の内容について解説。認知症の方が介護を必要とするようになって、住み慣れた地域で暮らせるよう、地域全体でこのプランを展開・推進していく重要性を訴え、協力を呼びかけました。

京都九条病院では、これからもこうしたセミナーを開催するとともに、あらゆる機会を通して地域の病院・診療所との連携を強め、地域の方々が安心して暮らしていけるよう、サポート体制の充実を図っていきます。



医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団) 介護老人保健施設 マムフローラ
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥/院25-2 TEL 075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団) 介護老人保健施設 マムクオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3 TEL 075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団) 介護老人保健施設 マムクオーレⅡ
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 TEL 075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋羅城門町16 TEL 075-661-3820(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 訪問リハビリテーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075 694 6644(代)

医療法人同仁会(社団) ヘルパーステーション マム
〒601 8453 京都市南区唐橋羅城門町38 マム・スクエア内2階 TEL 075 694 6622(代)

京都市唐橋地域包括支援センター 京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団) 居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団) ショートステイ マム
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7667(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設) 同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-5070(代)

医療法人社団 京健会 西京病院
〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町39-1 TEL 075-313-0721(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設) メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 0120-558-756

医療法人同仁会(社団) ホームページ

www.dojinkai.com /